

幼小接続地区別合同研修会（県内 6 会場にて実施）

研修の目的

幼児教育と小学校教育の円滑な接続の在り方について、講義や演習を行うことで、幼稚園・保育所・認定こども園等と小学校の教職員間の相互理解を深めるとともに、地域における接続の取組推進を図る

管内の小学校・幼児教育施設関係者が一緒に研修をします

教育事務所	管内市町村
中津	中津市、豊後高田市、宇佐市
別府	国東市、姫島村、別府市、杵築市、日出町
大分	大分市、臼杵市、津久見市、由布市
佐伯	佐伯市
竹田	竹田市、豊後大野市
日田	日田市、玖珠町、九重町

義務教育課指導主事による講義・協議



幼児教育スーパーバイザーによる講義・協議



受講者の感想

【幼児教育施設】

・幼保小が互いの教育を知ることや子どもの姿を通して一緒に考えていくことの大切さを学んだ。小学校1年生では生活科の学習を中心に幼児期の学びや体験がつながっていることを知り、子どもたちが遊びを通して学ぶ幼児期の重要性に改めて気付かされた。

【小学校】

・小学校就学前の子どもたちの遊びを通した学びが入学した後の子どもたちの学習につながることをあらためて感じた。小学校のスタートは「0」ではないことを念頭に置いて子どもたちと接し、子どもたちの主体性をさらに育てていこうと思った。

幼児教育施設は小学校以降の教育を見据えて、小学校においては幼児期に育まれた資質・能力を踏まえてそれぞれの教育活動を充実させることが求められます。そのために、学校種や施設類型の違いを越えて語り合い、お互いの教育を理解し合うことが大切です。